

20両を一挙代替

高度多様化ニーズに対応



ウイング車と平車各10両を導入

ネクスト

【北海道】ネクスト(岩村大樹社長、北広島市)は、ウイング車(20・5シ)10両と平車(21・5シ)10両の計20両(シャシー)を代替するなど、安全輸送の徹底を図り、高度多様化するニーズの対応に力を入れている。リプレイス計画に沿って9月に20両を導入したもので、今後も計画的に代替を進めて行く予定。運送業界では今回のように一度に大量の入れ替えを行うことは珍しい。

新しいウイング車(20・

5シ)は、コメ輸送など幅広い需要に対応するために導入。同型車種では、最大限の積載重量を確保した。リフトアックスル機能が付いており、①高速道路走行時に大型特殊から大型車に料金の変更②燃費の向上③タイヤ摩耗の低減―など、コストダウンや二酸化炭素(CO₂)削減効果が期待される。

輸送事業部の吉本健吾部長は「古い車両ではお客さまに十分なサービスができない。新車両を導入し、今後も安全や環境保全に全力で取り組んでいく」と話す。

(前川 美穂)